

第2回ツバメの集団営巣&ねぐら入り観察会（報告）

報告 野口 隆司

- ◆日 時：2025（R7）年7月26日（土）16：45～20：30
- ◆場 所：集団営巣観察（北野田駅東隣り「商業施設ライフ北野田店の通路」）
ねぐら入り観察（堺市美原区「今池」のヨシ原）
- ◆参加総数：42名
一般参加者／11組25名（大人18名、子供7名）
スタッフ等／17名（地域のツバメ見守り隊9名、堺野鳥の会1名、
鉢ヶ峯の自然を守る会7名）
- ◆共催団体：地域のツバメ見守り隊・鉢ヶ峯の自然を守る会
協賛団体：堺野鳥の会

2回目の今年は地域のツバメ見守り隊との共催、堺野鳥の会の協賛で観察会を開催した。多くの参加申込みがあったが、ねぐらとなる美原区「今池」への交通は小型の路線バスしかなく一般乗客を見込むと乗車人数に限りがあるため、先発・後発組に分かれての乗車予定にした。3組の参加をお断りをせざるをえなかったが、念のため一部のスタッフには車で今池へ移動をしていただいた。

ツバメの集団営巣（ルースコロニー）の観察

午後4時45分集合で北野田駅改札出口で参加者の受付。地域のツバメ見守り隊の倉澤歩実ちゃん手作りのツバメのイラスト入りの首掛け用の「ネームカード」を皆さんにお渡しする。早速、駅の東隣りにある商業施設「ライフ」1階と2階のツバメの集団営巣を見学。

施設管理者が巣の真下に糞受けの発泡スチロール板等を設けるなどして保護してくれている。十数個ある巣は空巣で既に子ツバメ達は巣立っていた。

地域のツバメ見守り隊の小坂さんから巣づくり～産卵～ヒナ育て～子ツバメの巣立ちまでの営巣期間中の話を中心に説明を受ける。

- ・親ツバメはシーズン中2回子育てをします。ヒナへの餌運び、多い日は1日300回も往復します。
- ・巣で過ごすヒナ達はカラスなど天敵の襲来がある。又、近年の猛暑で特に2回目のヒナは暑さの影響を受けている。
- ・ツバメ達が9月頃から東南アジアへ命がけで渡り、翌年春、日本に戻れるのはわず



歩実ちゃん手作りのネームカード

か2割程度。

- ・ツバメは減り続けているので温かく見守ってほしい、などをお話しされた。

トイレ休憩後、今池のねぐらで北野田駅前育ちや各地域で見守っていた子ツバメ達と逢えることを楽しみに午後5時35分発のバスに何とか全員乗車できた。

今池のヨシ原の集団ねぐら入りに歓声!!

今年は黒姫山古墳前バス停から4つ先の真福寺公園前バス停で下車し、徒歩移動して午後6時10分過ぎに今池の土手に到着する。まだツバメの姿は観えず、筆者から「どうしてツバメは集団のねぐらをつくるのか」、「1994年から今年までの約30年間に溜め池の埋立てなどで堺市内やその周辺でねぐらの場所を15回も移動していること」、

「今池のねぐらは今シーズンで5年目になり、これまでで最長になること」、「この間、ツバメをはじめ多様な生き物を育むヨシ原は埋立て開発などで消失しており保全が必要」、「知る限りでは今池のヨシ原は堺市内だけでなく南河内や泉北地域で最大で貴重なヨシ原であること」などを説明する。説明をしている時にツバメの姿を観か



けるが未だ飛んで来る気配がない。午後6時40分過ぎに小さな群れがヨシ原上空に飛来するが、未だ空は明るく参加者の皆さんに「もう少ししたら一気に飛んで来ますよ!」と説明する。

日の入りの午後7時6分を過ぎて西の方角から徐々に飛来数が増えてきて午後7時15分過ぎには一気に大群がゴマを

時いたように上空一面を高く飛び、頭上すれすれに燕尾の短い子ツバメ達の群れ

今池の土手からツバメのねぐら入りを観察 が横切り、参加者の皆さんからワァーという驚きと歓声が聞こえる。暫くするとヨシ原の南東部にねぐら入りを始め、午後7時30分頃にねぐら入りを終える。ねぐら入りしたエリアは南東部から南西部の道路近くのヨシ原へ至り、今年は北西側まで広がっていた。昨年は15,000羽の規模と記録したが、スタッフからねぐら入りしたエリアが昨年よりも広がっており、約20,000羽はいるのではとの意見があった。

前日の7月25日(金)に環境保全や生物多様性の推進を担当する堺市環境共生課職員の方々に今池のねぐら入りを案内し、今後堺市でも関心を持っていただけたらと思う。

又、本観察会後の8月初旬に鳥類の研究者がねぐら入りの現地調査をしたところ、「約27,000羽の規模になる、その時点では大阪府で最大のねぐら規模になるのでは。」との情報があり、改めて今池のねぐらの大切さに思いを巡らした。

私たちに馴染み深いツバメは様々な棲息環境の変化や悪化でその数が減少しており、近い将来絶滅危惧種になるリスクがあると聞いている。今回の観察会を通じて、市民

や行政の方々に少しでもツバメを取り巻く現状を知っていただき、棲息環境の保全の輪が広がることを願っています。観察会に参加された皆様、夜遅くまでお疲れ様でした。

ツバメの観さつ会のこと

倉澤 歩実

7月26日にツバメの観さつ会に行ってきました。その日はツバメを知りたい人達が集まるから、来る人達のために、カードを作りました。カードのデザインを考えるのが大変だったけどわたした時に「カワイイ」と言ってもらえてうれしかったです。その後ツバメの会の人達が話しをしてくれました。ツバメは2回子育てをして一日300回もひなのためにえさをはこぶことを知りました。ひなを育てるのは大変だなと思いました。

ねぐら入りの場所に着くとまだツバメは集まっていなかったけど時間が経つといっぱい集まってきました。子ツバメの飛んでいる姿が風がふいているかのように見えて、きれいだなと思いました。いっぱい飛んでいるけど、ぶつからず上手に飛んでいて感動しました。またツバメのねぐら入りを見に行きたいです。